

# スタンフォード・京都・アジア諸国とのダイアローグ —エネルギー・環境とアジアの経済成長—

このたび、スタンフォード大学アジア太平洋研究センター (APARC) は、アジア太平洋地域の各国共有の問題に対して協力的アプローチを強化していくことをめざして、複数年にわたる「ダイアローグ」を発足させます。

開会の年となる本年(2009年)は、エネルギーと環境の关系到決定的に重要な意味をもつ「ネクサス」(結び付き)に焦点を当てます。すなわち、今回の世界的経済不況の下で、気候変動の脅威に対処しつつ、アジア全体における急速なエネルギー需要の増加にいかに対応するかを考察します。

今回の「ダイアローグ」には、スタンフォード大学及びシリコンバレーから著名な専門家が、またアジア各地からもその道の権威が集い、さらにビジネス、政治、学術研究機関、メディアといったさまざまな分野のリーダーたちも参加します。会議ではまず、エネルギーの競争がアジアの国際関係に及ぼす影響について論じ、地政学上の関係をはっきりさせた上で、エネルギー効率、クリーンテクノロジー、二酸化炭素排出削減を促進するための新しいアイデアを探求していきます。

この「公開シンポジウム」では、事前の対話セッションの参加者の中から数名が代表として出席し、議論の成果を発表するとともに、話題となった重要な問題についてパネリストそれぞれの見解を披露します。

## Public Symposium

**モデレーター** 青木 昌彦氏  
スタンフォード大学名誉教授、スタンフォード日本センター共同理事長

**パネリスト** マイケル・アマコスト氏(アメリカ)  
スタンフォード大学上席フェロー、元・米国駐日大使、駐比大使

薛 瀾(シュエ・ラン)氏(中国)  
清華大学 公共管理学院教授・院長

プロディプト・ゴージュ氏(インド)  
エネルギー資源研究所(TERI)上席フェロー

トン・ヌー・ティ・ニン氏(ベトナム)  
元・ベトナム駐欧大使、現・トリ・ベトナム大学設立プロジェクト代表

参加費無料  
日英同時通訳あり

日時

2009年 9月11日(金)  
17:00—18:30(16:30開場)

場所

京都市国際交流会館  
イベントホール

主催：スタンフォード大学アジア太平洋研究センター、スタンフォード日本センター、京都市  
後援：京都府、社団法人京都工業会、京都商工会議所

「DO YOU KYOTO?」環境にいいことしていますか?

## 出演者 プロフィール

### モデレーター



#### 青木 昌彦氏

スタンフォード大学名誉教授、スタンフォード日本センター共同理事長

比較制度分析を専門とする理論経済学者。研究業績は、制度理論、コーポレート・ガバナンス、企業の理論、日本経済などの分野にわたる。スタンフォード大学とハーバード大学で助教授を務めた後、京都大学において助教授、教授（同大学名誉教授）。1984-2004年、スタンフォード大学教授。2001-2004年、独立行政法人経済産業研究所（RIETI）所長。2008年から国際経済学連合会長。東京大学経済学部卒業、同大学経済学修士。ミネソタ大学経済学博士。

### パネリスト



#### マイケル・アマコスト氏(アメリカ)

スタンフォード大学上席フェロー、元・米国駐日大使、駐比大使

2002年からスタンフォード大学アジア太平洋研究センター（APARC）に特別研究員として勤務。1995-2002年、ワシントンD.Cのブルッキングス研究所の所長を務める。同研究所は、米国で最も歴史があり、同国の政治、政府、国際関係、経済学、および公共政策研究のリーダー的存在である。24年間の政府勤務においては、政治担当国務次官や日本、フィリピンのアメリカ大使を歴任。2007年、旭日大綬章受章。オハイオ州カールトン大学卒業。コロンビア大学法学・政治学修士、同博士。



#### 薛 瀾(シュエ・ラン)氏(中国)

清華大学 公共管理学院教授・院長

清華大学21世紀発展研究院常務副院長、産業発展と環境ガバナンス研究センター(CIDEG)ディレクターを兼務。中国国務院危機管理専門委員会メンバー、カーネギーメロン大学非常勤教授など、国内外の研究機関でも多くの要職に就いている。公共政策分析・管理、科学・技術政策、および危機管理を専門とする。ニューヨーク州立大学にて技術システム管理と行政学の修士号を取得。カーネギーメロン大学において工学、公共政策の博士号を取得している。



#### プロディプト・ゴシュ氏(インド)

エネルギー資源研究所(TERI) 上席フェロー

科学、経済学、公共政策の多分野に精通。インド政府、環境・森林省大臣をはじめとする政府の要職を歴任。インド政府代表として気候変動条約の交渉にあたった。現在も気候変動対策において、同国の首相諮問機関で、また、世界銀行、IAEA、アジア開発銀行などの国際機関で顧問としても活躍。インド工科大学化学工学学士。カーネギーメロン大学において経済学および政策分析の博士号を取得している。



#### トン・ヌー・ティ・ニン氏(ベトナム)

元・ベトナム駐欧大使、現・トリ・ベトナム大学設立プロジェクト代表

外交官として20年以上、国連やASEANなどの様々な国際機関を担当し、国際平和、開発、環境といった問題に従事した。また国会議員として欧米諸国とベトナムとの関係強化にも寄与。現在はトリ・ベトナム国際大学設立に向けたプロジェクトの代表を務める。ベトナム女性ユニオンの中央執行委員会理事、NGO団体「ベトナム女性グローバルネットワーク」議長を兼任。ベトナムの若年層に多大な影響力を持つ。ソルボンヌ大学、ケンブリッジ大学卒業。